

新規就農支援関連事業

予算要求額 2億6,041万5千円

1 目的

新たに関東都市部から信州で農業を始めたい若者を呼び込み、信州農業を体験・研修する機会を充実させ、より多くの就農希望者が長野県を選択し、農業に定着できる環境を整える。

2 事業概念図

1 就農サポート事業【就農相談のワンストップ窓口】

- 窓口設置(11カ所:担い手基金・普及センター)
- 就農相談員 2名・就農コーディネーター 14名の配置
- 年間相談数 1,500件余り

農業ブームの到来！農業に呼び込むチャンス！

- 1 都市住民のライフスタイル・価値観の変化
- 2 雇用の受け皿として農業への期待

○ 県外相談者の増加 H20年 475人 → H21年 578人
うち関東圏 219人 → 308人 (1位東京都 145人 2位神奈川 68人)

○ 農業を始めたい都市部就農希望者のニーズは？

ニーズ1 農業を知りたい・体験・勉強したい！

- ① 長野県で農業を始める必要な情報が欲しい。
- ② 農業で独立したいので長野県を訪問したい。
- ③ 長野県の農業を体験をしたい。
- ④ 長野県で農業を始めたいので、仕事をしながら勉強したい。

ニーズ2 雇用されながら研修したい！

- ① 長野県の農業法人で働きたい。
- ② 長野県で農業を始めたいが、資金がないので農業法人で働きながら農業研修したい。
- ③ 雇用されながら農業体験したい。

このニーズに応えるために！既存の研修事業に誘導する前に2つの就農支援事業を付加

② 信州農業入門事業

- ① 信州農業体験会(80人)
長野県に就農を希望する関東都市部の住民を対象に農業を勉強する体験会の開催
- ② 信州農業ゼミ(25人)
信州農業を学習する日曜ゼミの開設

③ 農業雇用支援事業

- ① 農業緊急雇用(100人)
短期雇用による働きながらの農業体験
- ② 就農準備研修事業(80人)
長期雇用による働きながら自立就農を目指す農業研修

事業終了後は、希望者の実情や習熟度に応じ、関連の研修事業に誘導

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 4 農業大学校研修事業 | 農大研修部での座学・技術・機械等の研修 |
| 5 新規就農里親支援事業 | 里親のもとでの実践型研修 |
| 6 農業リーダー育成事業 | 農業改良普及センターでのフォローアップ研修 |

■ その他の連携事業による就農準備・定着化支援

- 無利子の就農資金の融通 ○ 普及センターでの経営改善指導 ○ 受入地域の密着支援

多様な就農者の確保目標 480人(自営農業者 200人・雇用就農者 280人)

3 事業効果

- 農業を始めたい都市住民の呼び込みと、就農定着までの確実なサポート
- 農業労働力の確保と、農業での雇用創出促進

